

1. 研究課題名：

持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究（POST-2015）

- 地球の限られた資源と環境容量に基づくポスト 2015 年開発
- ・ 成長目標の制定と実現へ向けて -



2. 研究代表者氏名及び所属：

蟹江 憲史

東京工業大学大学院社会理工学研究科価値システム専攻

3. 研究実施期間：平成 25～27 年度

4. 研究の趣旨・概要

2015 年に迎えるミレニアム開発目標（MDGs）の達成期限を前に、ポスト 2015 年目標に関する政策論議が高まりつつある。リオ+20 では、持続可能な開発目標（SDGs）策定へむけたプロセスが合意された。

本研究では、「資源環境制約の観点からの目標と指標」、「開発の観点からの目標と指標」、「持続可能な開発目標実現のためのガバナンスの研究」といった多角的視点からの分析を統合し、「資源環境制約下の成長・開発の方向性と目標及び効果的ガバナンスの提示」に向けた知見を提供する。

これにより、国際的な持続可能な開発目標設定プロセス、地域・国・都市レベルでの目標設定支援、国内外での規範形成、持続可能な開発に対する国民理解の深化等に貢献する。

5. 研究項目及び実施体制

- ① 全体統括及び目標・指標とガバナンスの総合的提示（東京工業大学）
- ② 持続可能な開発目標とその実現に資するボトムアップ事例の検討（東京工業大学）
- ③ 目標や指標の定量的オプションやシナリオの提示（株式会社 イー・コンザル）
- ④ 資源・エネルギー・食糧・水等の複合目標及び指標の検討（独立行政法人国立環境研究所）
- ⑤ Beyond GDP目標と指標の提示（国立大学法人東北大学）
- ⑥ 資源・環境制約下での開発及び成長実現のための目標や指標の提示（学校法人関西大学）
- ⑦ 地球システムからの制約の検討（鉱物資源に焦点をあてた検討（学校法人立命館大学）
- ⑧ 地球システムからの制約の検討（生物資源に焦点をあてた検討（国立大学法人東京大学）
- ⑨ 教育分野におけるポスト・ミレニアム開発目標と指標の提示（国立大学法人東京大学）
- ⑩ 保健・健康・衛生に関する分野におけるポスト・ミレニアム開発目標と指標の提示（国立大学法人長崎大学）
- ⑪ 経済開発分野におけるポスト・ミレニアム開発目標と指標の提示（学校法人関西大学）

- ⑫ 水、エネルギー等社会の存続に関する領域におけるポスト・ミレニアム開発目標と指標の提示（国立大学法人東京大学）
- ⑬ 持続可能な開発目標実施のためのマルチレベル・ガバナンスのあり方の検討（公益財団法人地球環境戦略研究機関）
- ⑭ 国連を中心とした持続可能な開発のガバナンスの検討（国際連合大学高等研究所）
- ⑮ 効果的資金メカニズムの検討（学校法人慶應義塾大学/国立大学法人京都大学）

6. 研究のイメージ

